

せいけん  
詩集

第九十二篇

作：近藤せいけん

「天ゆく飛龍」

高く 高く 大空に昇る飛龍

羽ばたけ 夢を追い

飛べ 飛べ 悠々と自在に

輝け 輝け 光となれ

その姿 神に似て

神々しく

天ゆく 飛龍

水の底に いる時代

じつと 力をつけろ

人に似て 人生に似て

潜龍を生きろ

淵に上がった時代

広く 世界を見ろ

人に似て 人生に似て

淵龍を生きろ

天ゆく 飛龍

やがて来る

地に降りる 時に備えよ

人に似て 人生に似て

降龍を生きよ

